令和６年度　さいたま市立針ヶ谷小学校　第３回学校運営協議会議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 場　所 | 針ヶ谷小学校　会議室 |
| 日　時 | 令和７年１月１５日（水）午前１０時３０分～１２時２０分 |
| 出席者 | 学校運営協議会委員  育成会会長、育成会副会長、主任児童委員、針ヶ谷保育園園長、大原中学校長、  針ヶ谷小PTA３名（会長、副会長２名）、  針ヶ谷小学校５名（校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター、事務職員）  合計　１３名出席 |
| 議　事　録 | |
| １　校長あいさつ  ２　R６学校教育活動について  　　（学校評価）  ３　熟議  「R６学校教育活動について」  ４　R７学校運営に関する基本的な方針について    ５　いじめに関する報告・協議  ６　閉会 | ・本年度のまとめをしますので、忌憚のないご意見をお願いします。  ○学校評価システムシートの振り返りについての説明  １学力について  ・個別最適な学びについて・・・理解の遅い児童だけでなく、速い児童の学力も伸ばしていく。また、学び方の工夫にも取り組んでいる。  ２安心・安全  ・様々な場面を想定した訓練・教職員研修の実施ができた。  ・「いのちの安全教育」を全学年で実施した。  ３地域とともにある学校  ・夏のラジオ体操ではPTAや地域と連携できた。また、親子清掃や地域の方への音楽会の公開や・給食交流等、新たに取り組めた。  ４教職員の資質向上と働き方改革  ・学年や教科を核として授業研究等の学び合いを行った。教職員アンケート「学び続ける教師の具現化」では、80％の教員が肯定的に回答した。  ・職員の時間外在校時間が、組織平均32時間となった。教職員が心身ともに健康で、児童と笑顔で触れ合う時間を確保するために一層の業務改善を行っていく。  ○令和６年度の学校教育活動について委員の方々からご意見等をいただいた。  １主体的な学びについて  ・子どもたちは楽しそうに学んでいる。読書活動は学校で取り組んでいただいているが、家庭に帰ってくるとゲームをしている現状がある。来年度以降も継続して教育活動として取り組んでいただきたい。  ・個別最適な学びのため教職員が努力しているのが素晴らしいと思った。  ・学年・学級によって読書活動の取組傾向に差はあるのだろうか。  ・小学校で学びたいと思ったことが中学校でも学べる一貫性を一緒につくっていきたい。「大原中に行きたい。」と思ってもらえるようにしたい。  ・学校での読書活動が、児童の本当の読書習慣になるとよいと思う。読書の楽しさや大切さを味わってほしい。  ・先生のおすすめの本に対して、児童が感想カードを書く取組がよいと思った。  ・読書習慣を身に付けていくには、家庭での工夫も必要だと思う。（テレビをつけたままにしないことや、タブレットの使い方等）  ・兄弟姉妹でも読書への関心の度合いが違う。本好きになってもらいたいので家庭で工夫をしているところだ。  ２安心・安全  ・育成会で夜パトロールをしている。公務員住宅付近が暗くて心配。地域でも働きかけて安全を守っていきたい。  ・大けやき公園で遅くまで遊んでいる子どもがいて心配に思うことがある。  ・Solaルームをうまく運営していただいているようでよいと思う。いろいろな居場所があることを児童が知っていることが大切。たくさんの家庭・保護者に認知していただいて活用してほしい。  ・「学校が楽しい」と回答する児童が多くいてとてもよいと思う。  ・通学路が狭くて、車と接触しないか懸念している。児童の登下校の安心・安全を確保したい。また、不審者情報もある地域なので、子ども達にとって安心・安全な地域にしたい。  ・登校よりも下校時の方が事故の危険性が高いように思う。子ども110番の家の活用方法を児童が知っているか働きかけていく必要がある。  ・家庭でも子どもの小さな悩みや相談にのりたい。また、親子一緒に学校へ相談できる機会が多くあるとよいと思う。  ・リフレッシュ工事が大方済んでいるが、現在進行中である。施設管理するため修繕も行っている。（遊具修繕）  ３地域とともにある学校  ・育成会で地域行事に取り組んでいる。七夕まつりでは高学年児童が教える側で携わってくれた。教職員の方々も休日に協力してくれて有難い。地域のお祭りに活気があってよいと思う。たくさんの方に地域行事に協力してもらいたい。  ・来校した際に、児童が元気よくあいさつしてくれた。学校であいさつ運動に取り組んでいる様子が伝わってくる。  ・学校だよりが自治会の回覧板で見られると、さらに学校の様子が伝わっていいように思う。  ・継続することが大切なので、来年度以降の取組にも期待したい。  ・針ヶ谷小学校は地域の取組を大切にしていてとてもよいと思う。大原中学校では「勿忘草プロジェクト」福島復興支援活動に取り組んでいる。小学校と一緒に活動できるようにしたい。  ・地域ボランティアを募って、学校や児童と関わっていく機会を増やしたい。そうすることで地域とのつながりができていくのではないかと思う。（小・中学校のつながりや、地域のつながり）  ・子どもたちの力を活かす場をつくっていくとよいと思う。  ・地域の方にもあいさつを進んでしてほしい。それを促進していくのが課題だと思う。  ・地域の方々のパトロールはとても有難い。地域に支えられて学校があると実感している。  ４教職員の資質向上  ・家庭学習の在り方も考えていく必要がある。学校で教えてもらったことを定着させるのは家庭。そうすることで、先生方の負担軽減にもなると思う。  ・教職員の心身の健康を大事にしてほしい。休むことも大切。  ・先生方の仕事の手伝いになることがあったら教えていただきたい。是非、協力させていただきたい。  ○令和７年度の学校運営の基本的な方針について説明させていただく。  ・子どもたちにとって安全な居場所となる学校  ・自立していく場となる学校  ・集団で交流し社会性を育む学校  ＜児童（高学年）アンケートと学校評価保護者アンケートより＞  ・児童の思い・・・仲良くいじめのない、思いやりのある学校  ・保護者の願い・・・だれもが、毎日楽しく変える学校  ○R７年度重点項目  ・実践的な防災・防犯、交通安全教育  ・メタ認知を促し、調整力を育てる授業の実践  （振り返り活動の積み重ね、コーチングマインドの関わり）  ・多様性を尊重する「いのちの安全教育」  ○R７年度教育活動の変更点について  ・年間授業日数の変更　205日→202日  ・時間割の変更　　　　　　　　　　　　　　１月学校公開日の学校説明会にて  ・校外学習の見直し　　　　　　　　　　　　保護者へ説明する。  ・離任式の取り止め　　　　　　　　　　　　（資料の校内配信も行う。）  ・運動会の内容変更　　　　　　　　　　　　※詳細は年度末懇談会で配付。  ※令和７年度学校経営方針について仮承認をいただいた。  ・いじめの認知件数は、１２月末までで３１件。いじめ案件は比較的中学年に集まっている。  ・長欠欠席・傾向の児童数について説明。５名程度がSolaルームを利活用している。 |